

保健課保健師等会議の効果

～包括的活動体制づくり～

西部保健所広島支所保健課

○増岡甫菜子 服多美佐子 増田百合香

1 はじめに

保健師の保健活動の基本的な方向性が示された「地域における保健師の保健活動について（平成 25 年 4 月 19 日付け厚生労働省健康局長通知、以下「通知」という。）」に基づき、本県では、平成 27 年 3 月に「広島県保健師人材育成ガイドライン」を作成し、計画的に保健師の人材育成に取り組んでいる。通知には、包括的な保健、医療、福祉、介護等のシステムの構築等を実施できるような体制を整備すること、その際に、保健師がその担当地区に責任をもって活動する地区担当制の推進に努めることと明記されている。

当所では保健師の完全な地区担当制はとっていないが、精神保健福祉、結核対策、難病対策等業務担当の枠の中で地区担当保健師を定めている。この体制は、分野ごとの業務を推進しやすい反面、地域共生社会の実現を見据えた分野横断的な活動が求められる中、地域の実情に応じた保健活動を行うには保健課内部の包括的な活動体制づくりが必要と感じていた。

そこで、新型コロナウイルス感染症対応が落ち着いた後、課内の包括的な活動体制づくりを目指した取組みを本格化し、保健課保健師等会議を、令和 6 年度から毎月の定例開催とした。今回、令和 6 年度からの実施内容と担当者による自発的な両係での検討会、管内市町の地域アセスメントの実施等を振り返り、今後の組織内の包括的な活動体制づくりの更なる取組みについて検討したので報告する。

2 当所の概要

(1) 地区概要

当所は、県の南部に位置する海田地域（安芸郡府中町、海田町、熊野町、坂町）と県北西部（安芸高田市、山県郡安芸太田町、北広島町）の 1 市 6 町を管轄し、管内面積は 1,599.45 km²で、総人口は 167,218 人（令和 7 年 1 月 1 日現在）である。各市町の概要は表 1 のとおり。

表 1 管内市町の概要

| 区分 | 総数 | 海田地域 | | | | 芸北地域 | | |
|-----------------------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 府中町 | 海田町 | 熊野町 | 坂町 | 安芸高田市 | 安芸太田町 | 北広島町 |
| 面積 (km ²) | 1,599.45 | 10.41 | 13.79 | 33.76 | 15.69 | 573.71 | 341.89 | 646.20 |
| 人口 (人) | 167,218 | 52,074 | 30,810 | 23,475 | 12,498 | 26,041 | 5,367 | 16,953 |
| 高齢化率 (%) | — | 25.1 | 23.5 | 34.6 | 30.1 | 41.0 | 53.0 | 39.8 |
| 出生数 (人) | 1,179 | 442 | 318 | 137 | 82 | 115 | 8 | 77 |

出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口動態（R7.1.1 現在、出生数は R5.1.1 現在）」



図 1 管内地図

(2) 保健師の配置状況

当所保健課の課員は23名(課長、参事含む)で内訳は、健康増進係10名、保健対策係11名であり、保健師以外に健康増進係に管理栄養士と歯科衛生士の配置がある。保健師の経験年数別配置状況は表2のとおり。

表2 経験年数別保健師配置状況(実務担当者)

| | 1年未満 | 1～5年 | 6～15年 | 16～30年 | 31年以上 | 合計 |
|-------|------|------|-------|--------|-------|----|
| 健康増進係 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 3 |
| 保健対策係 | 1 | 3 | 2 | 0 | 1 | 7 |

3 取組内容

(1) 保健課保健師等会議

保健師等が定期的に集い、係を超えて事業や情報を共有することを目的に、これまで不定期に実施してきた会議を令和6年度から毎月1回に定例化した。内容は、地域課題を検討するきっかけとなるよう、業務の情報提供や事例検討などとした。概要は表3、詳細は表7のとおり。

表3 保健課保健師等会議の概要

| | |
|-----|--------------------------|
| 日時 | 毎月第3火曜日 13:30～15:00 |
| 場所 | 集団指導室 |
| 対象者 | 保健師および関係職員(管理栄養士、歯科衛生士等) |

(2) 地域包括ケア担当者による自発的な両係での検討会

当所では、健康増進係の地域包括ケア担当者が管内市町の地域ケア個別会議に助言又はオブザーバー参加している。参加前の事前準備として、経験の少ない担当保健師が課内保健師等へ呼びかけ、自発的な両係での検討会を実施するようになった。毎回時間の都合がつく者が集まり、ざっくばらんに意見交換を行い、精神保健担当者からの助言を得ること、地域の高齢者支援の実情や地域の特徴などを課員同士で共有することができた。また、支援のあり方やポイント等を先輩保健師と他職種から学ぶ機会となった。

表4 自発的な両係での検討会の概要

| | |
|--------|---------------|
| 開催回数 | 毎月1～2回 |
| 所要時間 | 1時間程度 |
| 各検討事例数 | 1～3事例 |
| 内容 | 高齢者が中心 |
| 参加者数 | 3～11人(平均5.9人) |

(3) 管内市町の地域アセスメントの実施

令和6年3月に県健康危機管理課が、「地域アセスメントの手引き」を作成し、これを機に地域アセスメントの重要性に立ち返り、職種を問わず課全体で共有し、引き継がれるように取組むこととした。まずは、共通フォーマットのアセスメントから始め、自分の担当業務に関連した情報を追加した。1年間で管内7市町全てを行うことは現実的でなく、年に1～2市町ずつアセスメントをまとめて、保健課保健師等会議で共有し、担当地域、業務別の健康課題の検討、情報共有を行った。

令和7年12月に行った会議に参加した保健師アンケートでは、参考になった内容、今後希望する内容ともに地域アセスメントが多かった。

表5 地域アセスメントの実施状況

| 年度 | 市町名 | 内容、工夫点等 |
|-------|-----|---|
| 令和6年度 | 市町A | ・精神保健担当者が実施。 |
| 令和7年度 | 市町B | ・精神保健、感染症、地域包括担当の保健師3人で分担して実施。 ・各担当業務からのアセスメントを実施。 ・合併前の4地域に分け、特徴と社会資源をまとめた。 |
| | 市町C | ・精神保健、感染症、地域包括、母子保健担当の6人で分担して実施。 ・保健師、歯科衛生士で実施。 ・各担当業務からのアセスメントを実施。 ・小学校区で地理的な特徴をまとめた。 |

4 令和7年度からの新たな取組

(1) 市町が実施する保健師会議（研修）への参加

次の3市町の保健師会議へ表6のとおり参加した。

表6 市町が実施する保健師会議の参加状況

| 月 | 市町名 | 参加者数 | 内容 |
|-----|-----|-------------------------|---|
| 7月 | 市町B | 14人 (市町11人 保健所3人) | ・保健所業務の説明、市町Bの保健事業の説明 ・意見交換（テーマ：アルコール関連問題に関する取組） |
| 8月 | 市町C | 18人 (市町16人 保健所2人) | ・災害時公衆衛生活動の出前講座（保健所） ・災害時の市町保健師の活動 (～支援チームの帰った後～から復興支援期の保健師の関り～) ・意見交換 |
| 12月 | 市町A | 9人 (市町8人 保健所1人) | ・災害時公衆衛生活動の出前講座（保健所） ・意見交換 |

【市町A】保健師が分散配置。市町管理期保健師の要望で、災害時公衆衛生活動の出前講座を実施した。

【市町B】保健師が分散配置。月1回の市町保健師の定例会議実施。市町統括保健師の交代等をきっかけに、保健所から市町保健師の定例会議での交流を打診し、定例会議に保健所の精神保健、感染症、地域包括の3人の地区担当保健師が参加した。保健所保健師の業務をあらためて知りたいという希望があり、まずはお互いの業務を知るところから始めた。

【市町C】保健師が分散配置。市町の保健師人材育成計画を策定し保健師ミーティングを実施することが計画に掲げられた。市町統括保健師の要望で、市町保健師ミーティングで災害時公衆衛生活動の出前講座を実施した。

(2) 保健所保健師の地区踏査

上記の市町保健師会議参加（市町B）の機会を捉えて、参加した保健所の地区担当保健師が市町内の基幹避難所、主要病院・診療所、施設の確認等を行った。

住民が受診する際の距離感や地図上では市町中心地に立地していて利便性がよいと思えた施設が、実際には坂道があり、車がなければ高齢者等の要配慮者は移動できないというような現状を把握した。

実際に現地で確認してみないと分からないことがあり、地区踏査に出向くことは非常に重要であると皆の気づきとなった。

(3) 健康増進係と保健対策係の協働事業

これまで保健対策係が養護教諭、市町関係者を集めて実施してきた「こどものこころの健康づくり検討会」と、高校生を対象とした性感染症予防啓発に健康増進係の母子保健担当者が準備段階から参画し、事業当日も両係の保健師が協働して運営した。

(4) 管内新任期保健師等研修会（新規採用5年目までとそのプリセプター）と保健課保健師等会議の合同開催

管内新任期保健師研修会の運営を保健所保健師全員で行った。保健所保健師が、見本デモやロールプレイでの観察役などの役割を担った。

表7 保健課保健師等会議内容

| 月 | 令和6年度 | 参加者 (職種) | 令和7年度 | 参加者 (職種) |
|-----|---|-------------------------------------|--|-------------------------------------|
| 4月 | ・年間計画 ・地域アセスメントの手引き、共通フォーマットの活用 | 11人 (保健師) | ・年間計画 ・地域包括ケアの取組、にも包括の取組 | 13人 (保健師、 歯科衛生士) |
| 5月 | ・災害時保健活動 初動の情報共有等、物品とマニュアルの確認、 災害時保健活動の経験共有 ・会議復命「要配慮者避難支援と個別避難計画」 | 10人 (保健師、 管理栄養士) | ・災害時保健活動 (広島支所版) 現地調整本部運営手順・災害時 アクションカード 平時からの準備について(物品、地図等) | 10人 (保健師、 歯科衛生士) |
| 6月 | ・災害時保健活動 令和3年8月豪雨対応、個人情報の取扱い ・健康ひろしま21(第3次)の推進管理について | 10人 (保健師、 管理栄養士) | ・「高校生に響く健康教育(性感染症)」の取組、 評価の意見交換 ・市町Bの地域アセスメント | 11人 (保健師) |
| 7月 | ・事例共有、意見交換(措置入院した認知症高齢者) ・第9期ひろしま高齢者プラン、認知症基本法 ・研修復命「養護者による高齢者虐待対応」 | 10人 (保健師、 管理栄養士) | ・事例検討(精神保健)「高齢となった精神障害者の 支援」～対応と情報共有～ ・研修復命(令和7年度広島県災害保健医療コーデ ィネート研修) | 10人 (保健師) |
| 8月 | ・事例共有、意見交換(人権に配慮した認知症高齢者への対応) ・芸北地对協在宅緩和ケアワーキンググループ の取組(ACP) | 11人 (保健師) | ・会議復命(市町B保健師会議への参加、地区踏査 について) ・会議復命(市町C保健師会議) ・研修復命(保健所技術系職員研修) | 10人 (保健師) |
| 9月 | ・管内母子保健推進連絡会議について ・研修復命「健康づくりの運動プログラム」 | 11人 (医師、保健師、 管理栄養士) | ・管内新任期保健師等研修会と合同開催 相談支援場面のロールプレイ 情報交換とグループワーク | 13人 (保健師) 11人 (市町保健師) |
| 10月 | ・講義「感染症への対応について～麻しん対応から 見えること～」 講師：保健所長 | 11人 (医師、保健師、 管理栄養士) | ・市町Cの地域アセスメント ・事例検討(精神保健) 「こころの悩み相談や性感染症に関する相談電話 の対応」 ・保健課における包括的活動体制づくり | 13人 (保健師) |
| 11月 | ・事例検討(精神保健)「攻撃的な言動への対応」 ・事例共有、意見交換(母子保健)「相談支援～傾 聴の基本」 | 11人 (医師、保健師、 管理栄養士) | ・講義「広島県保健医療福祉調整本部・DHEATの取 組状況」「保健活動連絡会議～発災2か月 後の被災地を学ぶ～」 講師：保健所長 | 15人 (医師、保健師、 管理栄養士、 歯科衛生士) |
| 12月 | ・市町Aの地域アセスメント | 15人 (医師、保健師、 管理栄養士、 歯科衛生士) | ・難病相談事業について ・保健課における包括的活動体制づくり | 12人 (保健師) |
| 1月 | ・健康ひろしま21管内取組状況 芸北地域の「歯・口腔」の取組(歯科衛生士)、 市町での「栄養・食生活」の取組(管理栄養士) | 13人 (医師、保健師、 管理栄養士、 歯科衛生士) | ・地域での包括的な取組について (歯科衛生士活動、栄養士活動) | |
| 2月 | ・成年後見人制度について ・権利擁護に係る広島県の取組 | 12人 (医師、保健師、 管理栄養士) | ・研修復命(予定) | |
| 3月 | ・まとめと来年度計画 | 14人 (医師、保健師、 管理栄養士) | ・まとめと来年度計画(予定) | |

5 効果

保健課保健師等会議を定例化すること及び、そこから発展した課内と管内市町への取組によって、保健師等が一堂に会し担当業務を超えて検討や情報交換を行うことが当たり前となり、次の効果があったと考える。

(1) 包括的な視点で活動する意識の醸成

「参加することで地域の高齢者の特徴などが見えてきた」、「隣の係の具体的な業務は知らないことばかりだった」、「多角的な視点をもって事例を見ることを学んだ」などの意見があり、分野を超えて地域全体を把握し、自分の業務に生かしたいという意識が高まっており、各々が自主的に会議研修資料や復命書を課内の地区担当者間で共有している。

(2) 地区活動の経験が少ない保健師の人材育成

「先輩から実際の経験をもとに助言をもらい、教科書どおりにいかないことについて具体的に学べる機会となった」、「地域で生活している人々が何に困っているのかを知る機会となった」などの意見や、

病院勤務経験者からは、「治療して直すという考え方が強かったが、80～90代の住民が地域で最後まで生きていくにはどうするかという視点で考えることを学んだ」などの意見があり、地区全体を見据えた活動についての学びが得られている。

(3) 担当地区に責任を持つ活動の意識付け

健康危機管理事案が発生した際、両係で情報共有・連携し、市町及び関係機関への対応を迅速に行うことができた。地区に責任を持つ意識が基本にあるからこそスムーズに活動できたと考える。

今後は、健康危機事案を自身の担当業務と結び付け、担当業務の中で、健康危機事案をどう予防するかを検討し、一步踏み込んだ活動を目指したい。

(4) 災害に備えた平時の取組

災害時対応について地図や物品を準備すること、地域に出向いて人や場所を知ることによって具体的な活動をイメージすることができた。

(5) 管内市町への取組の波及

市町ごとに状況は異なるが、統括保健師を配置し、保健師が一堂に会する機会を持つなど、組織や担当業務を越えて保健師間の横の連携を強化する動きが始まっている。

6 今後の取組

保健課における包括的活動の更なる取組の検討のため、図2を保健師等会議で共有し、今後の取組として実施できそうなことを募ったところ、表8のような意見が出た。

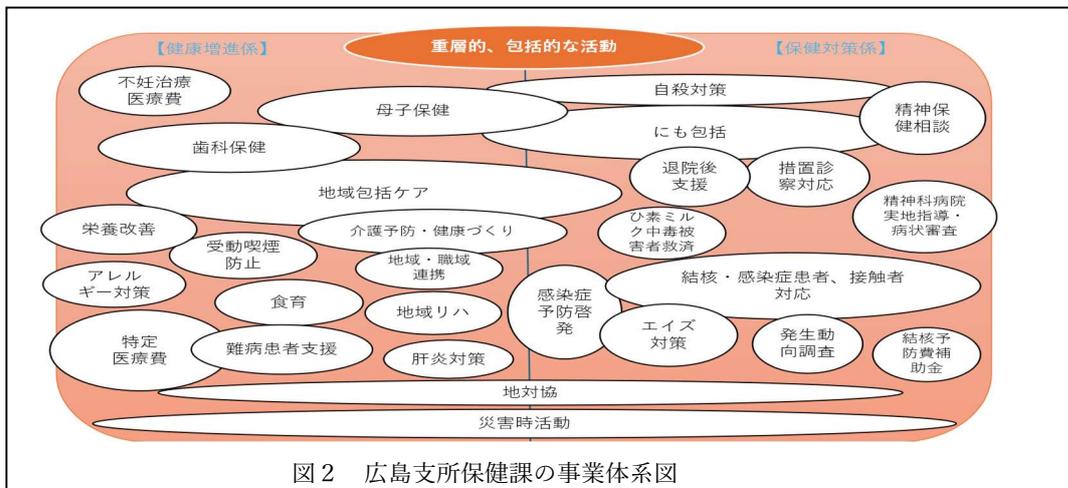


図2 広島支所保健課の事業体系図

表8 包括的活動について、保健課で今後できそうなこと（抜粋）

- ・地域包括ケアヒアリング、評価に多様な担当者が参加する。(精神保健、感染症、歯科保健、栄養改善)
- ・自殺対策の会議に健康増進係も参加する。(高齢者、母子保健の視点)
- ・子どもの自殺対策を子育て家庭の問題点から検討したい。
- ・精神保健の対象者が高齢化して地域包括ケアも関係して対応することも多く、健康増進係との事例検討、情報共有により重層的・包括的な体制で取組む。
- ・高校生への性感染症の健康教育に、プレコンセプションケアを含んだものを実施する。
- ・妊婦・産婦・褥婦のメンタルの疾患の研修会
- ・タバコとアルコールとメンタルについての対策
- ・結核やエイズ予防の普及啓発を介護予防や健康づくりの中で行う。
- ・定例の会議以外に、管内市町または保健所内で「どうなってるの？」の声を気軽に上げてもらって、柔軟に意見交換をする場をつくる。⇒気軽に管内市町を調整できる機能（格式張らずに介入できる）
- ・担当以外で参加可能な事業に参加する。(当所で企画された研修など)

(1) プレコンセプションケア・健康づくりの視点での取組

高校生への性感染症の健康教育を実施する中で、若い世代から正しい知識を持ち自分達で適切な予防行動がとれるよう「自分も相手も大切に作る」というメッセージを伝えている。これは既にプレコンセプションケアの取組となっており、性別を問わずすべての世代にとって重要な健康づくりの考え方である。

プレコンセプションケアを妊娠出産などの母子保健の分野にとどめず、プレコンセプションケアと健康づくりの視点を、保健所の様々な分野の業務と連動させ、健康教育や普及啓発等の事業を展開していきたい。

(2) 健康づくり・メンタルヘルスの視点での取組

子どもから高齢者まですべての世代への健康づくりの取組はメンタルヘルスを含んでいる。精神保健福祉相談事例の検討、情報共有、会議研修なども、健康づくりとメンタルヘルスの視点で検討し、課内で包括的な関わりや活動を行えるように取組んでいきたい。

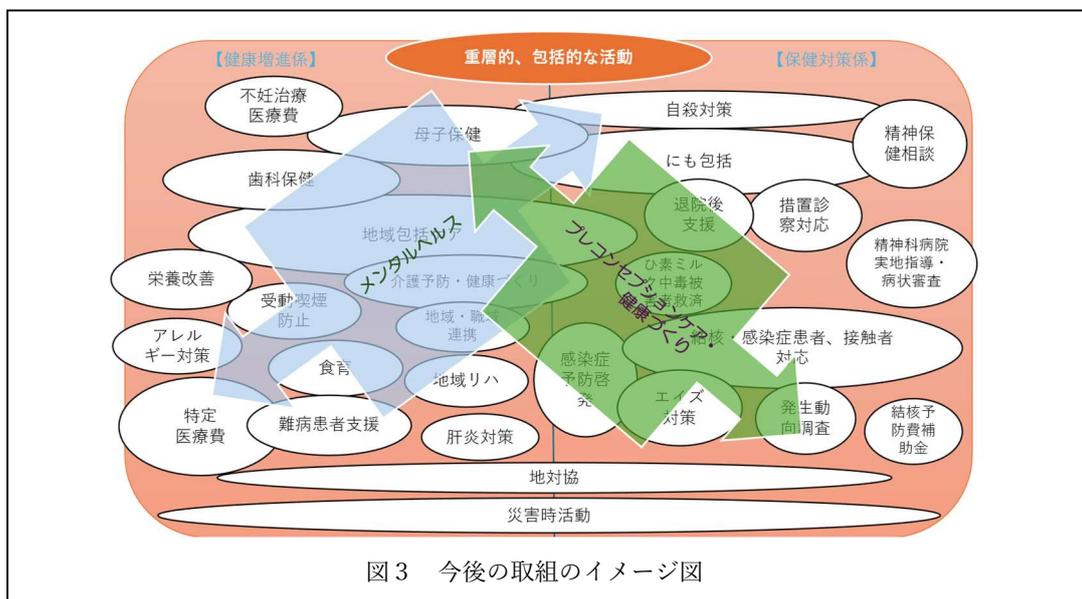


図3 今後の取組のイメージ図

7 まとめ

市町も保健師の分野ごとの分散配置が進み、あえて意識工夫しなければ「分野横断的な活動」が難しい現場の状況となっている。今後は、保健師を中心とした取組を課全体で検討し充実させるとともに、市町を含めた管内全体の包括的・重層的な保健活動の推進に注力していきたい。

また、新たな感染症や大規模災害に向けた平時からの備えも、この活動を基盤として推進していきたい。

(参考文献)

- 1) 日本公衆衛生協会分担事業者 生田寛子：令和6年度地域保健総合推進事業「2040年を見据えた令和における保健師の地区活動の推進に関する調査研究事業」報告書、令和7年3月。
- 2) 中板育美、事例検討会の意義と、効果的なファシリテーション、保健師ジャーナル Vol81No2、2025.4